

委員会のうごき

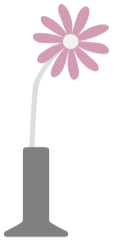
総務文教常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、平成25年度八潮市一般会計補正予算(第3号)の分割付託1議案のあわせて2議案の審査を行いました。

平成24年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、「選挙費の備品購入費で何を購入したのか」との質疑に対し、「老朽している投票用紙自動交付機を4台購入した」との答弁がありました。

また、平成25年度八潮市一般会計補正予算(第3号)については、意見として「補正予算案について反対の立場で討論します。本補正予算は24年度決算に基づく剰余金が歳入の大部分を占め、学校建設基金への3億円の積み立てを含めおおよそ9億4千万円が積み立てられています。教育費では就学援助費にPTA会費や部活動費、生徒会費を一般財源化されたにもかかわらず、措置されていません。また、市民要望に対し財政状況を鑑みてとの答弁がされています。基金への積み立て自体は否定しませんが、今回のような多額の積み立てには賛成できません。よって、本議案に反対します」との発言がありました。

議案の審査結果については、2議案とも可決すべきものと決しました。



建設水道常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託1議案、その他の17議案のあわせて17議案の審査を行いました。

平成24年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定については、「救急車の出動件数の推移と救急車が必要ないと感じられるような出動があったのか」との質疑に対し「平成22年度が3424件、平成23年度が3573件、平成24年度が3649件の出動があった。人によっては、38度の熱でも大丈夫な人がいたりするので、一概に判断できない。その人の状態をよく観察して適切に対応している」との答弁がありました。

また、「木造住宅耐震改修補助金の利用が少なく市民ニーズに合っていないと感じるが、どう考えるか」との質疑に対し「昭和56年5月以前の建物が補助の対象となるため、建物全体が老朽化し耐震化に費用をかけるなら建て替えてしまおうという人が多いのではないかと考えている。しかし、利用者が少ないことから昨年、市外の事業者にも耐震改修を発注できるように補助要綱を改正したところである」との答弁がありました。

次に、平成24年度八潮市水道事業決算の認定では、「収益的収入の特別利益は、東京電力の賠償金と聞いているが、その内容と請求額が満額支払われた

のか」との質疑に対し「この特別利益は、東京電力の福島原発事故による放射性物質を調べる水質検査の賠償金である。具体的な内容は、水質が汚染されていないかを調べる検査代や検査容器、運搬費等の検査に要した費用で、請求額の内、人件費を除いた額について支払いを受けました」との答弁がありました。

議案の審査結果については、17議案すべて可決すべきものと決しました。

福祉環境常任委員会

委員会に付託された議案については、平成24年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定についての分割付託をはじめ決算関係4議案、平成25年度八潮市一般会計補正予算(第3号)の分割付託などの補正予算関係4議案、のあわせて8議案の審査を行いました。

平成24年度八潮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定については、意見として「後期高齢者医療制度については、75歳で高齢者を差別する医療制度ということ、早く廃止すべきという立場をとってきており、保険料についても年々負担を重く感じる状況が、本決算でも見受けられます。よって、平成24年度の本決算について反対の討論といたします」との発言がありました。

次に、平成25年度八潮市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)については、意見として「国保財政が年々厳しくなっているという事は、本決算をみてもわかるのですが、加入者の保険税負担も大変重くなっています。八潮市の保険税も、県内で上から2番、3番と高く位置しています。決算では、4億円余り実質収支が出ておりますが、保険税の軽減にそれを充てるような補正予算を組むべきと考え、本補正予算に反対いたします」との発言がありました。

「先ほどの審議のなかでも確認いたしました。基金に積み立てるのではなく、保険料の軽減制度を拡充するように使っていただきたい」との発言がありました。

次に、平成25年度八潮市介護保険特別会計補正予算(第1号)については、意見として「先ほどの審議のなかでも確認いたしました。基金に積み立てるのではなく、保険料の軽減制度を拡充するように使っていただきたい」との発言がありました。

議会運営委員会

委員会に付託された議案については、八潮市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について審査を行いました。審査の中では、「住民の多様な意見を反映させるためには、それなりの人数は必要である」との発言がありました。

また、「去る、7月30日に開催された市議会議員立候補予定者説明会に定数と同数の22名が出席した。この説明会後に定数を替えることについては抵抗

がある。しかし、近隣市と比較して議員1人当たりの人口を考えると議員数は減らすべきと考

える。また、市民の多様な意見を反映させるためには、人数が多い方がよいと思うが、別な方法でも市民の多様な意見は集約できると考えるので議員の定数削減には賛成である」との発言がありました。また、「八潮駅ができて、まだ10年も経っておらず、駅周辺の南部地区は開発途上であり、今後どの程度、人口が増加するか分からない状況のなかで今、議員定数を減らして良いのかと思う。議員の定数については、南部地区の開発が完了し、人口の増減がある程度落ち着いた段階で検討すれば良いと考えるので、今回の議員提出議案には賛成できない」との発言がありました。また、「南部地区の開発も進んできていることから、将来的には、本市の人口も増えることが予想される。また、一度議員定数を削減すると将来的には定数を増やすことは難しい。よって現在の議員定数で良いと考える」との発言がありました。また、「南部中央地区で7500人、また、南部東、南部西地区を合わせた南部3地区で最終的には2万7000人が在住することが予想される状況をみて今回の議員定数削減には反対する」との発言がありました。

議案の審査結果については、可決すべきものと決しました。

て執行部より説明を受け、質疑を行いました。

陳情

違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書

陳情者住所 兵庫伊丹市北伊丹1丁目75

陳情者 井田 敏美

地球社会建設決議に関する陳情書

陳情者住所 神奈川県横浜市中区本郷町3-287

陳情者 荒木 實

要望

母(朱春菊)が中国で不法に逮捕されている件に関する要望

要望者住所 岐阜県関市向山3丁目2-6

要望者 西村 麗子

議案

議案第93号 八潮市教育委員会委員の任命について

9月30日をもって任期満了となる八潮市教育委員会委員に、木下史江氏(きのした ふみえ、大字二丁目924番地6)が同意されました。

議案第94号 八潮市固定資産評価審査委員会委員の選任について

9月29日をもって任期満了となる八潮市固定資産評価審査委員会委員に、清水努氏(しみず つとむ、草加市氷川町830番地1ライオンズマンション草加氷川605号)が選任されました。

北部特別委員会の開催

7月24日、整備計画等につ